

戦時下勤労働員 67年ぶり邂逅

尼崎精工での耐え難い体験交わす

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ

<http://www.normanet.ne.jp/hyofuku/>

八月二十九日(水)から九月九日(日)までイギリスのロンドンでパラリンピックが開催されます。中川原にお住まいの宇城守さんの息子さんと、名古屋市在住の宇城元(はじめ)さん(三十九歳)が、種目・パワーリフティングに出場されます。九月三日(月)現地時間十八時開始。応援しましょう。



▲ふくろうの郷で「二度とあのような時代を繰り返させないために・・・」と語らうみなさん

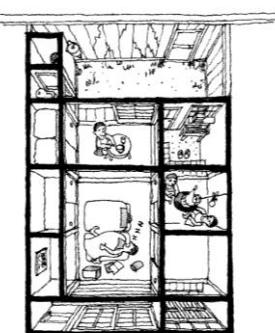
尼崎精工とは、鉄砲を上にも構えるしぐさ、つまり「手話・尼崎」の代名詞にもなり、高齢のろう者では名の知られた工場です。昭和15年9月以降、1000人を超えるろうあ者が全国から送り込まれ、中村正一さんは昭和18年3月から、土居文子さんの夫・正一(故人・松山市出身)は昭和17年2月から尼崎精工にて『應徴士』として、信管を製造していたのです。

7月30日 ふくろうの郷の入居者・中村正一さん(94歳)と土居文子さん(97歳)は、お二人のお客様を迎えました。野村純弘さん(洲本市本町)・奥田勵さん(洲本市物部)がその人。野村さんと奥田さんは、洲本中学4年になった昭和19年、45期の同学年全員が7月から翌年6月までの10ヶ月間、尼崎市の長洲にあった軍需工場・尼崎精工に『学徒勤労働員』され、高射砲の信管製造をさせられたのです。

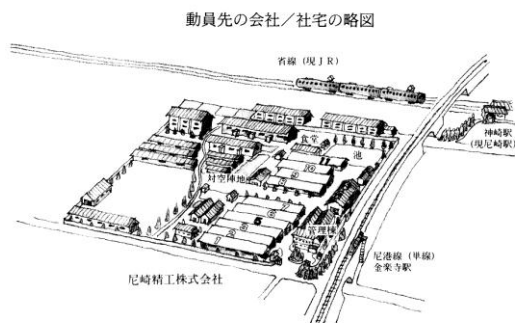
しかし、双方の出会いはなく、たまたま、昨年8月洲本市五色で開催された『戦争展・障害者の証言』で野村さんと施設長・大矢の出会いがあり、今回、ふくろうの郷にて中村正一さんなどとの面談となったものです。中村さんは「すっかり忘れてしまった」といつつ、耐え難い体験にうなずきあい、写真を見比べ、今後の交流を約束されました。(施設長:大矢)



▲野村さん(右)と奥田さん(左)



社宅誠和寮内での暮らし



尼崎精工の工場全景(同期生・画・岩田氏)



当時の尼崎精工「思春哀惜」洲本45期生の記録より(野村氏提供)

真夏の太陽の下、涼を楽しむそうめん流し



▲「もっと食べなさいよ」と勝楽進さんにそうめんをすすめる土居文字さん

7月22日(日)ふくろうの郷玄関前で、夏の恒例行事となった地域交流会の方々によるそうめん流しが行われました。

前日には、早朝より評議員、平野さんの実家の竹やぶから10メートル近くもある長くて太い竹を何本も切り出し、みなさんで準備を行っていたきました。

当日には、昨年にも増して20メートル近くもある流し台を二本組み、入居者さんのみなさんが両側に並んで座り、竹の中をすべやかに流れるそうめんを童心に返って追いつきながら箸を進めることが出来ました。

暑い中、二日間に渡ってご支援いただいた、地域交流会の皆様にご心よりお礼申し上げます。

(総務：八木)



あじさい連の踊りボランティア



7月17日(火)、毎月、散髪ボランティアに来てくれている「まるみ美容室」のみなさんが入っている「あじさい連」が入居者の皆さんに踊りを披露されました。締めくくりには入居者さんも参加され、一緒に踊り、楽しい交流の場となりました。



▲自然に踊りだす入居者さんたち

新理事就任のあいさつ

先にお亡くなりになった橋詰理事の後任に高田 裕 様が新理事として就任されることになりました。就任のあいさつをいただいております。



たかたクリニック院長 高田 裕 氏

7月の法人役員会で理事に就任いたしました高田 裕 (たかた ゆたか)です。現在、五色町で、たかたクリニックの院長をしています。法人・淡路ふくろうの郷とは、設立時に深く関わった兵庫県保険医協会の淡路支部長をさせていただいています。また、シヨートステイ等で実際に私の患者もお世話になっております。前五色町長と五色町の地域医療をよくする取り組みなどを行ってききました。その経験から福祉的な立場からご協力できるのではないかと考えていますので、よろしくお願いたします。

第65回 淡路島祭り

8月4日(土)今年も淡路ふくろうの郷は「デフ・淡路ふくろう連」に入居者、職員、地域交流会、ボランティア合わせて約60名で参加しました



▲食後に記念撮影



▲南あわじ市ホテルアナガ

ホテルアナガでお礼のランチ

7月12日に、4月にふくろうの郷でフランス料理を提供していただいたお礼を兼ねてホテルアナガに伺い、ランチを堪能してきました。

はじめは、素敵なホテルに緊張気味の入居者さん達でしたが、前菜のスズキのカルパッチョを食べ、ボトルワインを皆で乾杯した頃より緊張もほぐれ、ほろ酔い気分です。三時間に及ぶランチになっていました。

「美味しかったわ、また来ます」と中野総料理長を囲み、固い握手を交わしました。

中野総料理長も「又、ふくろうの郷に行き、美味しい料理を作ります」とお約束を頂いて、別れを惜しみながらホテルを後にしました。
(調理・山中)



中野総料理長と固い握手

淡聴協・手話サークルで 安村さんの入院を支援して…

安村みよ子さんは91歳。おのこの家の通所を大変楽しみにされ、「メガネチェーン」「折箱」などの手作業が大得意です。今年4月に大腿骨を骨折し入院。病院食が食べられず、体調も弱っていくため、淡聴協、サークルに、病院訪問の支援を呼びかけました。

訪問すると、安村さんは満面の笑顔でまず握手。ろう者からは「安村さんは和裁が得意で、昔縫ってもらった着物を今も大事にしまっている」「亡くなったご主人と一緒に仕事をしていた」親戚の方は「安村さんは農作業も早く私が嫁に来た時はよく助けてくれた」等、ベッドの側で懐かしい昔話の花が咲き、働き者だった姿がかいまみられます。体調も落ちてきて心配ですが、同障者が生活する淡路ふくろうの郷の入所を心待ちにしています。

淡聴協・サークルの面会・励ましは続きます。

完成したドレスタオルを手に笑顔の安村さん(今年2月)に「かわいいと評判でバザーでは、すぐに完売となります。」



お知らせ

9月1日(土) 10:00~14:00
ミニ交流会 in 淡路ハイウェイオアシス
“暮らしや生活のことを気軽に話そう”

9月26日(水) 10:00~17:00
移動相談:南あわじ市三原地区
午前:三原支所 午後:家庭訪問

~お問い合わせはこちらまで~
淡路聴覚障害者センター
〒656-0027 兵庫県洲本市港 2-26
洲本健康福祉館 3階
TEL:0799-24-3850 FAX:0799-26-1175



ろう者の家は赤、難聴者は黄、サークル、避難所、等シールでマーキング、浸水やがけ崩れが心配な箇所の色を塗り…



総勢47名が参加。専門家からの説明は分かりやすく、防災意識がたかまりました。



「津波が来た場合、どちらのイラストが分かりやすいかな?」1枚1枚確認。参加者からたくさんの意見ができました。



5グループが作成したマップについて発表。難聴の佐藤さんも洲本地域のマップについて発表。

淡路聴覚障害者センター 防災マップを作ろう

第4回社会生活教室に参加して

7月14日(土)人と未来防災センターの宇田川主任研究員から説明を受け、大きな白地図の上に、避難所、公共施設などのシールを貼り、その後、浸水や崖崩れの危険がある場所、東南海地震で津波が来る範囲などに色を塗っていきました。自分の手でマップを作っていくことにより、「○さんにも声をかけて避難しよう」「もし浸水したら、こっちの道を通って避難所に行こう」などと考え、防災意識が高まるのが分かりました。その後、緊急時のFAXのイラストについて、みんなで意見を出しました。ろう者の人はイメージをふくらませて意見をどんどん言うので、さすがだなと思いました。今後防災について学習し、地域とろう者をつなぐなど支援の方法を考えていきたいと思えます。(手話サークルあわじ安木)

平成24年度要約筆記奉仕員養成講座

6月2日より、洲本総合福祉会館で講習会が始まりました。今年9名の受講者が、15回に亘り要約筆記技術、聞こえないことの問題について学んでいます。



今、言語聴覚士を指しています。耳や言語に障害のある人のコミュニケーション手段、特に要約筆記の目的や技術を学んでみたいと思いを申しました。中途失聴難聴者の方は、既に日本語を読み書きでき、話すことも出来ます。中途失聴難聴者の方が無理なく情報をきちんと受け取れるよう要約筆記技術を学び実際に生かせるようになりたいです。

吉浦啓之

おのころの家



〒656-0025
洲本市本町3丁目1-10
清水マンション1F
TEL・FAX 0799-26-0956

時期は未定ですが、私たち「おのころの家」も移転する予定となつていきます。このことは利用者も知っていますので、まだ手付かずの移転スペースを覗きこみ、何やらみなさん、それぞれのイメージを膨らませておられるようでした。
(所長・橋詰)

七月八日(日)、「中川原高齢者・障がい者・地域ふれあいセンター」開所式に、おのころの家からも利用者二十一名、職員五名が出席しました。
車椅子用トイレなど利便性よく改装された旧中川原中学校校舎一階には、「おたがいさま中川原」「交流広場桜ヶ丘」「居宅介護支援事業所桜ヶ丘」が入りました。



開所式の様子

おのころの家移転に対して利用者は…

先日、ふれあいセンター開所式に参加した利用者には、「おのころの家の移転」について聞きました。その内容を紹介します。

★ 広い場所に移れて嬉しい。
★ 楽しみにリフォームされるのなら移りたい。部屋は「おしゃべりする人用」「集中して仕事する人用」「のんびり仕事する人用」切。ふくろうの郷の入居者に手

先日、ふれあいセンター開所式に参加した利用者には、「おのころの家の移転」について聞きました。その内容を紹介します。
ふくろうの郷には仲の良い友達がいる。中川原に移ったら、その人にも会いやすくなるかもしれない。それまで友達には頑張つて生きてほしい。また昔みたいにその友達とチーム対抗のゲームを打ち負かしたい。

芸を教えたい。
★ ふれあいセンターの理想はすごい。おのころの利用者が増えれば良いが、このまま減り続けたらどうするのか。それに、家から遠くなるし、周りにお店はなく、いろいろ不便になるのではないか？

★ 今は自分で病院受診してから通うこともできるが、中川原に移るとどうなるのか。

★ 中川原に住む聞こえる人たちと交流することもあるだろうが、うまくコミュニケーションができるだろうか…

★ 今は便利な場所にあるが、向こうに移ったら何もない。きれいに工事が終わったら、私の考えも変わるかもしれないが…



みなさん、不安な気持ちも大きいようです。
通所の合間に近所のお店で夕食や朝食の材料を購入する人もいます。おのころ屋も近くにありません。

みんなが安心して移転その日を待てるよう、利用者や職員の見解を反映し、移転に向けての準備をすすめていきます。

おのころ屋



〒656-0025
洲本市本町7丁目3-41
営業日時：月～金 9:00～18:00
TEL・FAX 0799-22-6133

お客様の声

★ 小さいお子さんをお持ちの親御さん「おのころ屋の焼菓子は無添加だから、子供に安心して与えられる。」

★ おのころ屋の食パンを友達から分けてもらったという方「おいしかったから私も買いに来た。主人も気に入ったようだ。」※現在、定期的にご購入くださっています。

★ 薄塩味のクロワッサンが気に入っていて、毎回、十個程ご購入くださる方「僕の気に入っているイギリス産のマーマレードと良く合うんだよね」

★ 二日に一回、アンパンをご購入くださる方「アンパンがおいしいからね」

徐々にですが来客数が増えています。固定のお客様も増え、事前予約後、ご来店くださる方もいます。移動販売をきっかけに

お越し下さる方も多く、期待を裏切らない品揃えを心がけています。ですが、多くは徒歩や自転車のご近所さんのため、雨の日の売り上げは伸び悩んでいます。イオンの火曜日、お客様感謝デーの日も今のところ苦戦しています。



▲よくお越し下さるお客様

新商品



▲マーマレード デニッシュ

手作りの「甘夏のマーマレード」が練りこまれたデニッシュパン☆爽やかな甘夏の香りが連日の猛暑に疲れ果てた心を元気にしてくれます。

味もほのかな甘みが効いて、とてもおいしいです。ぜひぜひ、お買い求めください。

続・地域を語る

第44回

郷土の盆踊り唄 三題

▽三勝浄るり崩しの唄

(三味線太鼓に合わせて…)
 受 貫々々音頭を貫々貫々を
 音頭を披露せにやならぬ

カシ

サア、イエー、エー、
 ヤートセーエーノ、
 ヤートナー、

送

哀れなるかな石童が丸は
 文を尋ねて高野の山へ
 地音頭 春ではなけれど花が咲く

国は吉野でつるべ鮎屋の弥
 左衛門
 今は名を変えて弥助、
 娘、その名はおさと

おさとは店で岸襷腰に前
 垂れホヤくと
 撫で押さえて愛に愛持つ
 鮎のすし
 おさが押したすしなら
 誰もよかろうと買いにく
 る
 下手で長出し皆さんの
 お邪魔
 ころあたりで次さんへ
 頼ろう

▽三勝揺

私とお前さんと真実なれば
 たとえ山中三疊敷
 竹の柱に笹の屋根

雨の降るときや高師(もろの
 ぶ)で
 雪降るときは由良の助
 縞の財布がおかるでも
 三夜の食事は一夜でも
 お前さんと寝た夜は与市兵衛
 じゃ…

※注 音頭出しによって自分でく
 どいたくだけでもある

▽二上り音頭

笹に雀はチンチンバタバタ
 横腹叩いて向うの小藪の漢竹
 の枝の

小枝の小笹のアヨシイ所で止ま
 る時には四十と八枚
 羽がえを揃えて尾かチ羽かチ
 チユチユチユで止まる
 裏の梅の木に鶯
 ホケキヨホケキヨと囀り廻つて
 飛んできて止まる
 ドソコイサノドソコイシヨウ
 止めて止まらぬ色の道
 ソリヤヨーホイ、ヨーホイ、
 ヨイトナー

遊び水あそび!

ふくろう喫茶&カクテルバーのおしらせ

本格カクテルを味わえます

□ふくろうカクテルバー

日時:8月23日(木)

13:30~15:00

1盃300円より。
ノンアルコールのカクテルも
あります。



□ふくろう喫茶

日時:9月16日(日)13:30~15:00

コーヒー・紅茶・ココア・
カルビスなど

1杯200円より
入居者さんと一緒に、楽し
い時間を過ごしましょう!



みなさまのおこしをお待ちしております

ふくろうかかし作りボランティア募集

今年もふくろうふれ愛まつりに来場される皆さん
をお迎えするかかしを10体作ります。

かかし作りのお手伝いに来てくださる方を募集し
ています。

骨組みに衣類の縫い付けや、かかしの設置のお手
伝いをお願いします。

みなさまのご協力よろしくお願ひいたします。

とき:8月26日(日) 13時30分~



▲昨年のかかし作りの様子とかかし

第7回 ふくろうふれ愛まつり 模擬店募集のお知らせ

10月28日に開催されます「ふくろうふれ愛まつり」に模
擬店を出店して下さる方やグループの募集を行っています。

毎年出店して下さる方から初めて出店したいという方まで問
いません。

興味を持たれた方はこちらまで。

TEL:0799-25-8550 FAX:0799-25-8551

メール:fukurou-sodan2960@ever.ocn.ne.jp

担当:船越・石川・竹原

